



新年、明けましておめでとうございます。このレポート上での、新年のご挨拶も3回目を迎え、皆様へ感謝の年明けです。私事で恐縮ですがしばらくお休みをいただくことになり、その前に念願だった須加前介護部長(看護師)へお話を伺うことが出来ました。今号は形式を変えて、須加語録満載でお送りします。

《看護師になったのは?・・・一人で一からはじめたかった》

もともと実家は教師家系ですが、高校卒業時に**ブラジルで農業**をするか、**ネパールで看護師**になろうと思って看護学校と農大を受けました。しがらみのない、海外の誰も知らない土地で、一人で一からはじめたかった。当時はまだ女性の社会進出に差別や偏見があり、自分が女性ということが不満だった。看護師は女性社会だから、やってみようかと。

そんなとき、某・O子先生に「**ネパールだって足立区だって同じ**」(笑)と言われて柳原病院へ入職を決意。民医連の理念や活動に共感した理由は・・・「**私の労働で誰かが儲かるのはイヤ!**」だったから(笑)

《公私ともに協力し合って、みんなで子育て》



柳原病院には13年間勤めました。第一子出産後も、病院の保育所へ子供を預けて2ヶ月で復帰。当時、同じマンションに看護師仲間が3人いました。時間のある人が子ども達をまとめて迎えに行ったり、ご飯を食べさせたり・・・**日常的にも関わりあって、協力し合って、みんなで子育てしましたね。**今より全体の規模が(法人含めて)小さかったから出来たのかな。末っ子の出産を機に江東区へ引っ越し、病院も退職しました。



《何でもやってみた、難病訪問看護師時代》

引っ越してから間もなく、知り合いの保健師に頼まれて、江東区の保健所が行っていた、難病者を対象にした訪問看護指導に携ることに。療養指導の名目なんだけど、散歩の同行で行った先がパチンコだったり、何でもアリでした(笑)当時はまだ介護保険スタート前だったので、家族が工夫して、苦肉の策で(介護を)色々やっていましたね。指導ではなくて、逆に私が色々教わりました。

私自身も、**試行錯誤しながら、何でもやってみました。**お風呂に入れない方をなんとか入浴させたくて、ゴムボート(!!!)を持ち込んで、ベッドサイドでお湯入れて入浴させたり。その後、お湯をどう捨てたらいいか困ってしまったり・・・(笑)筋ジストロフィーだった方をベッドから出やすくする為に、床に穴掘って(もちろん業者対応です)掘りこたつのようにしたり・・・



須加前介護部長

今思うと、訪問介護のケア技術はここで学びました。難病訪問看護師も13年間勤めました。



《すこやか福祉会へ、訪問介護部長・介護事業部長として奮闘》

1999年ケアステーション大島の開設時に呼び戻され(笑)2000年に介護保険制度が始まり、「訪問介護」に取り組むことに。あれから13年・・・私の周期は13年に縁があるのね。(法人設立当時の)初期の中心メンバーがいなくなって、**何だか(私)が残っちゃったのよ!!**

すこやか福祉会入職後に大きく取り組んだことは、ISOの取得かな。(様々な文章や技術を)「**整理して、定着させる作業**」を一生懸命やりましたね。

《須加さんの秘密に迫る。そのパワフルな原動力は・・・?》

私、謎解きが好きなの。海外のミステリーしか読まない。でも私情の殺人事件モノとかは興味なくて、特に好きなのは歴史モノかな。今読んでいるのは、イギリスの清教徒革命のミステリー。何かが「**分かる**」こと、「**なるほど〜!**」が好き。楽しくなるの!それと、目が良いからね!昔は視力2.0はあったもの。いつもキョロキョロ探しているの。世の中には気になることや、おもしろいことがいっぱいあるのよね!!



【須加語録① キーワードは「具体性」】

Q 心がけていることは?

A 物事は具体的に分かりやすく、シンプルに!**具体性に欠けると物事は進まないから。**(事業や運営の)方針や計画も具体性を持たせないとダメね。

【須加語録② 自分をよく知っている人は強い】

Q 介護職に携わる職員へ伝えたいことは?

A **自分なりの言葉で介護を語る「介護観」を持つことが大事です。**一人ひとりみんな違うし、同じものでなくていい。**自分なりのやり方を見つけること。**自分のことを良く知っている人は強い。自分が何を好きかは、だんだん分かってくるものです。私も〇十才すぎてから分かったことがたくさんあるから。

インタビューを終えて



須加さんの言葉はいつでも単純明快です。小難しい話も噛み砕いて「誰にでも分かる」よう話して下さる秘訣は・・・「自分で分かっていることしか口にしないから!」と。また「目が良いから」というお話は、視力低下の裸眼で、あまり周囲が見えていない私にとって目から鱗の観点でした。たっぷり須加節を堪能でき、贅沢な時間をありがとうございました。インタビューー:事務局 栗原つむぎ

利用者さん登場

デイサービスセンターかなまち 「おしゃべり大好き！」

デイサービスセンターかなまちは、平成16年12月1日に開所して9年目を迎えました。今回は平成20年11月から御利用のAさんを紹介します。

Aさんは向島生まれ。「もうちょっと顔が良ければ向島の芸者になってたかもね…」と笑って話され「今はここに来るのが一番の楽しみ！おしゃべりできるし、家ではひとりだし、ここに来ている間は私も『生きてる！』って思うのよ…」と。

私とのおしゃべりで昔話に花が咲き、15～18歳は満州に行っていたこと。向島で知り合いの美容室で手伝いをしていたころ、日本髪を結わせてもらったこと。
三味線や大正琴など多趣味だったこと。
60歳まで自転車に乗っていたけど、新車を買ったとたんに盗まれた…等々、おしゃべりがとまりませんでした。



このAさんが有名なのは、楽しみにしているおしゃべりではなく、食べ物の好き嫌いの多いことなのです。



あれもダメ、これもダメ…特に有名なのは「人参」が嫌いなことです。「あーAさん！今日は人参あるよ！」の日もあれば「今日は人参なくて良かったね！」「人参ないけど、これは食べれるの？」

など昼食のたびに周りの方々からの声。

「好き嫌いの多さ」が皆さんとの会話を盛り上げ、楽しい昼食の時間となっております。

そんなAさんは以前は多趣味でしたが、「もう家にあっても弾かないし…」と大正琴を寄贈して下さり、演奏依頼には、なかなか首をたてに振ってくれませんでした。今回お話しする中で「じゃあ平成25年は大正琴の演奏会をやりましょうよ！」と提案したところ「そうねえ～」と聞いていただけだったので、演奏会開催めざします！！



おしゃべりの時間と共にデイサービスでの楽しい時間も増やしていただけたらと思っております。Aさんをはじめ、御利用の皆様にも楽しい時間をお過ごしいただけるよう努めますので、今後とも宜しくお願い致します。

デイサービスセンターかなまち 久保田瑞江

クイズ☆☆

今回は、今話題のツタンカーメンより。上野では、ツタンカーメン展が開催され、連日大混雑だとか・・・

丁度先日、エジプトに旅行に行ってきました！さすがエジプト5000年の歴史！奥が深すぎて深すぎて・・・中でもツタンカーメンのミイラや黄金のマスクとの対面はテンション上がりました！



さてここで、クイズです。

今から約90年前に見つかったツタンカーメンのお墓、発掘したのはもちろん人の手ですが、発掘のきっかけを作ったのはある動物でした。さてなんの動物でしょう？

- ①犬 ②ロバ ③鳩

ヒント：別名うさぎうま

皆さんもエジプトに行って5000年の歴史を体感してみては？ グループホーム千住大川 桜井千春



【クイズ応募のきまり】

ご応募お待ちしております！

- ◆ ハガキかFAX、またはメールで
《氏名・住所・広報誌の感想を必ず明記》
- ◆ 商品：抽選でギフト券を贈呈【1000円分】
- ◆ 締切：2013年2月28日（必着）
- ◆ 答え・当選者発表：次号紙面にて



〒120-0023 足立区千住曙町 4-16 【前回の答え】
「すこやか福祉会 事務局 クイズ係り」 犬・栗・柿
FAX：03-5813-9252 林様・保坂様おめ
E-mail：jimmu@sukoyaka-fu.or.jp てくださいます！

本部事務局 〒120-0023 東京都足立区千住曙町 4-16
TEL 03-5813-9251 FAX 03-5813-9252
URL すこやか福祉会 <http://www.sukoyaka-fu.or.jp>
URL ファミリーケア <http://www.family-care.co.jp>